

クルマを極めたクルマ、ニューシルビア

——その卓越したメカニズム

精密なつくり

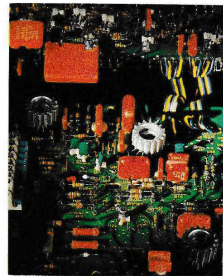
一貫して流れる

《ニューシルビア安全思想》

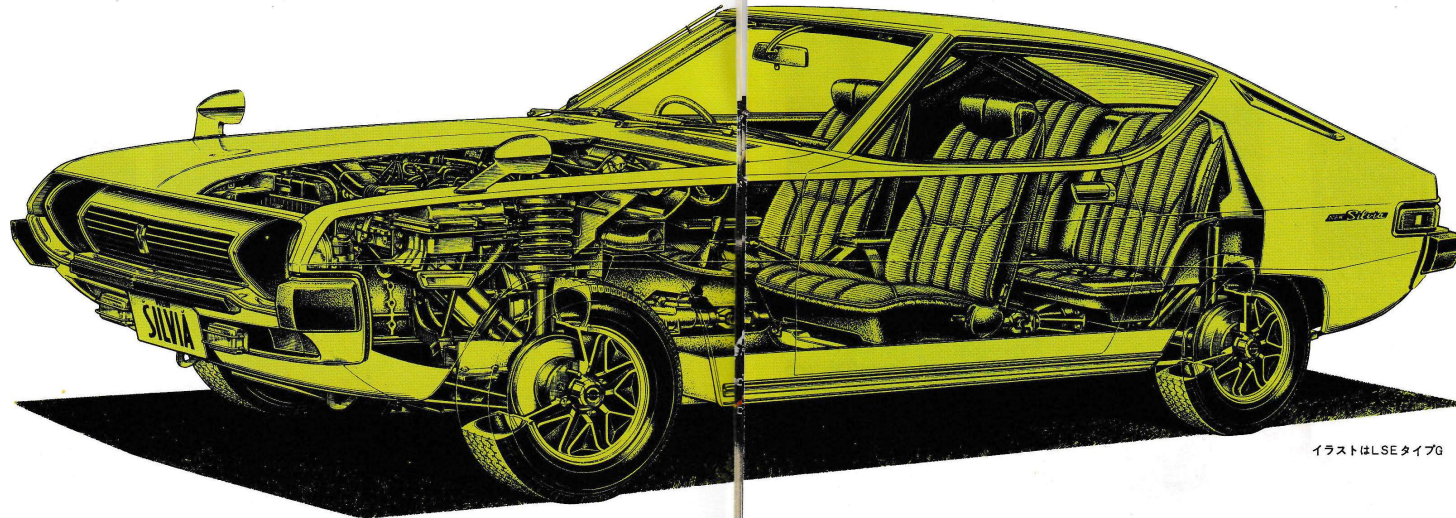
厳しい安全対策が内外にはりめぐらされています。たとえば前後のバンパーは、歩行者を守るウルトインタイプ。新採用の大型コーナーラバーやラバークッションの付いた2重安全バンパーです。ボディ自体も、強度、剛性、耐久性にすぐれたモノコック構造を採用。厚いソフトパッド付のインストルメントパネルも、安全な衝撃吸収構造です。さらに半ドア警告灯、ブレーキ液面警告灯、シートベルト警告灯(LSを除く)など各種のモニターを装備。緊急時に自動ロックする3点式シートベルト(前席2名分)など、乗員の安全を守る機構も充実しています。また、広いウインドウ視界により、前方・後方視界の良さは無類。タイプGには、走行中のまぶしさを防ぐサンシェードガラスも採用。視認性の高いリヤコンビネーションランプが、夜間にもくっきりと浮かび、ニューシルビアの安全思想を象徴しています。

《その他の主な安全装備》

- 灰皿照明、シガーライター照明、ヒーターコントロール照明
- ブレーキ液量警告灯(ハンドブレーキ警告灯)
- 排気温度警告灯
- ルームミラー防眩機構
- 熱線リヤウインドウ
- 万一の際に燃料の室内浸入を防止するタンクトレイ



電子制御燃料噴射装置(ニッサンE.G.I.)

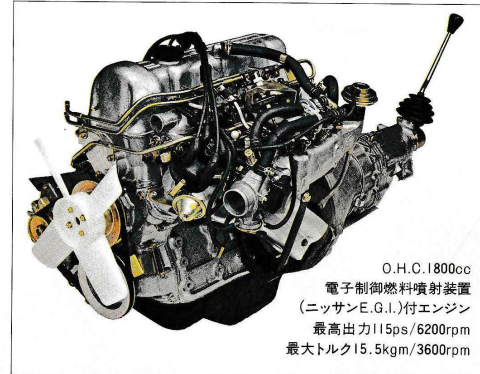


イラストはLSEタイプG

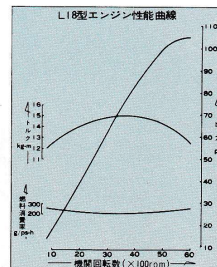
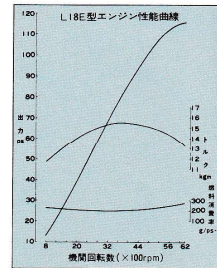
LSシリーズとLSEシリーズ。両シリーズのため

電子制御燃料噴射装置(ニッサンE.G.I.)付の高性能エンジン:LSEシリーズ運転にあわせて刻々と変化する走行状況をコンピューターが素早く感知し、つねに最適な混合気をエンジンに噴射。理想的な燃焼状態がえられるため、ムダを省き、燃費が向上します。5速フロアシフト車で18.0km/ℓ(60km/h定地走行テスト値)、実際の市

街地走行をモデルにした10モード燃費でも10.5km/ℓ(メーカー届出値)と、すぐれた数値を記録しています。また、出力性能や加速時のレスポンス、高速性能のアップに加え、始動性や耐熱性にもすぐれるなど、数々のメリットを備えています。



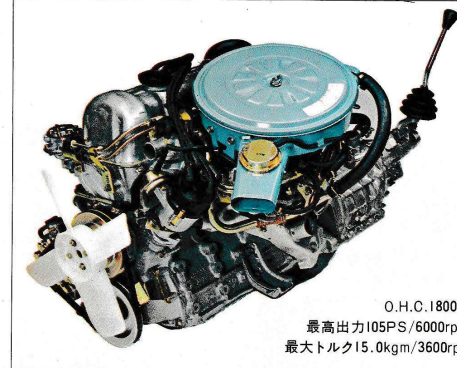
O.H.C. 1800cc
電子制御燃料噴射装置
(ニッサンE.G.I.)付エンジン
最高出力115ps/6200rpm
最大トルク15.5kgm/3600rpm



のエンジン2機種。

日産の高度なエンジン技術が磨きあげた、信頼のL18型エンジン:LSシリーズ低回転から高速回転まで、いかに実力を発揮する、日産の傑作L18型。トータルバランスにすぐれたニューシルビアをさらにパワフルに疾駆させる。余裕の1800ccエンジンです。最高出力105PS/6000rpm、最大トルク15.0kgm/3600rpmの力強い動力

性能。9.43kg/PS(オートマチック車を除く)という驚くべき馬力当り重量の良さが、鋭い加速性能を生み出します。燃費も17.5km/ℓ(5速フロアシフト・60km/h定地走行テスト値)を記録。パワーロスが少なく、経済的なクルージングが楽しめます。



O.H.C. 1800cc
最高出力105PS/6000rpm
最大トルク15.0kgm/3600rpm

高速性能を確実に制御

ニューシルビアのブレーキシステムは前輪ディスク式、後輪リーディング・トレーリング式の強力コンビ。前輪に採用されたディスクブレーキは、信頼性の高いアネット型。耐摩耗性や放熱効果にすぐれた新開発のパッドや、大型のローター、力強いマスターバックなどを装着しています。後輪ブレーキは、精度のよい大型9インチドラムを採用。耐フェード性も申し分なく、軽い踏力で、常に確実な効きを示します。ブレーキ液面警告灯やタンデムマスターシリンダーなど、安全への配慮も万全です。

安定した乗り心地を実現

フロントは、軽量で、エンジンルームを広くとれる独立懸架のストラット式サスペンション。リヤには、騒音や振動を押さえるアイソクランプや2重防振機構のリーフスプリング式サスペンションを採用。固めにセッティングされたスプリングと、径が太く、ロール剛性にすぐれたスタビライザー。低い重心や偏平タイヤとの見事なマッチングで、高速走行にも常に安定したロードホールディングが得られます。

手応え確かな3つの運転タイプ

ニューシルビアの運転タイプは、あわせて3種。どなたにも楽しめる4速フロアシフト。スポーティ走行に5速フロアシフト。そして操作の楽なニッサンマチック・フロアタイプ。余裕の1800ccエンジンから、効果的な出力を引き出せるよう、綿密な実験を積み重ねて適切なギヤ比を選定。どのギヤからも、伸びのよい軽快な加速フィーリングがもたらされます。



4速フロアシフト



5速フロアシフト



ニッサンマチック・フロアタイプ

10モード燃費とNAPS

L18E型エンジン 10.5km/ℓ (メーカー届出値)
60km/h定地走行テスト値は18.0km/ℓ(5速フロアシフト車)
L18型エンジン 9.3km/ℓ (メーカー届出値)
60km/h定地走行テスト値は17.5km/ℓ(5速フロアシフト車)

10モード燃費とは、実際の市街地走行に近い条件で、リッター当たり何キロ走行できるかを測定したものです。日産が壮大なスケールのもとに総力を駆使して開発した排出ガス浄化システム〈NAPS〉は、燃費の面でも特に優れたシステムです。

